

	ご質問・ご意見	市の考え方
<p>戸別収集のコストについて</p>	<p>・戸別収集のメリットが見えません。戸別収集を実施した結果、10.7%減のようですが、有料化だけでも10.7%減の可能性はあるのでは？戸別収集+有料化で14%見込んでの実施を目指すとの事ですが、ごみの減少量にあまり差がないとしたら、戸別収集+有料化を実施する為の7千万円の費用は無駄ではないか？</p> <p>・有料化は賛成。戸別収集は反対というより理解出来ません。資料1の中の全市実施に伴う推計コスト、①—②+③→▲71,894千円との説明はとても不親切なものと思います。説明会では、戸別収集にかかる費用はクリーンステーション収集より約5億2千万円多くなり、有料化の歳入約4億5千万円をすべて使っても、さらに約7千万円の持ち出しになりますとの現実を理解していた方は、少ししかいなかったと思いますが。</p> <p>・費用のかかるゴミ処理サービスに、少しでも費用を負担する有料化には賛成です。しかし、せっかく集めた約4億5千万円がすべて戸別収集費用に消えてしまうのは、反対です。その有料化歳入の約4億5千万円を焼却施設の再生化の為に積み立てる事は出来ないのですか？せっかくの歳入は建設的な意味ある使い方をすべきです。</p> <p>・コスト増加してまで戸別収集する必要は感じない。戸別収集が目的に聞こえてしまう。有料化により30%以上削減出来るという札幌市の実績など踏まえ有料化を先行して、足りないから戸別収集という二段階の方策が良いのでは？</p> <p>・クリーンセンターで堆肥を配って頂いていますが、これを有料にする事で、コストを回収の一部に出来ないでしょうか？</p>	<p>・戸別収集を導入するメリットとして、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 排出者が明確になるため、分別が徹底され、ごみの減量が図られる。 ② ごみ出しのルールやマナーが向上する。 ③ クリーンステーション周辺の住民の負担が軽減される。 ④ 高齢者や子育て世代のごみ出しの負担が軽減される。 <p>といったことがあり、ごみの減量に高い効果が期待される有料化と併せて実施することで、ごみの減量・資源化に大きく寄与すると考えています。</p> <p>既に、戸別収集・有料化を実施している藤沢市では、実施後に燃やすごみが18.7%削減されており、同様に戸別収集・有料化を実施している三多摩地区においても、ごみの削減効果があったと聞いております。</p> <p>平成27年度末に今泉クリーンセンターでの焼却が停止し、燃やすごみを3万トン以下にしなければならぬ喫緊の課題に対応するためには、戸別収集により新たな費用を要しますが、戸別収集・有料化は実施する必要がある施策と考えています。</p> <p>・戸別収集・有料化に掛かる詳細の経費についてもご説明し、皆様にご理解いただけるように心がけます。説明に際しては、戸別収集による約5億2千万円の増額は税金による間接的なご負担で、有料化による4億5千万円の歳入は手数料による直接的なご負担で、どちらも市民の皆様のご負担におかけすることも正確にお伝えします。</p> <p>なお、戸別収集・有料化に掛かる経費については、収集コストの見直しを行い、戸別収集に伴う増額経費から有料化による歳入を単純に差し引いた場合、有料化による歳入が約7百5十万円上回ります。今後とも、戸別収集実施による収集の習熟により経費の削減を検討していきたいと考えています。</p> <p>・有料化による手数料の用途については、「見える化」していく必要があると考えています。そのため、一般財源に充当するのではなく、ごみの発生抑制や将来の新焼却施設の建設等に充当することを検討していきます。</p> <p>・札幌市では、燃やすごみの有料化と併せて雑紙、植木剪定材を新たな分別品目としたことで、有料化実施前の20年度と比べ22年度は燃やすごみの排出量が約3割減少したと聞いています。しかし、有料化のみの実施のため、不法投棄防止対策のために職員を約1.5倍に増やすなどの対応が必要になったと聞いております。こうしたことから、戸別収集・有料化を併せて実施することでより確実にごみの削減を図っていきたくと考えております。</p> <p>・本市の植木剪定材堆肥は、市民に循環型社会を体感してもらうことを目的として、市内7か所で無料配布している他、自治・町内会単位や学校等で、その堆肥の使用目的が、循環型社会について広くPRできるものについては、個別に堆肥の搬送等も行っています。これらを併せて昨年度は年間1,636tの堆肥を配布しています。</p> <p>堆肥を有料配布にした場合、販売・管理に係る人員やコスト等が新たに発生することが想定されるため、有料化による本市にとってのコストメリットがあるか否かについては慎重な検討が必要です。また、これまで市内の7か所において、セルフサービスで配布していた方法を踏襲することは難しく、市民の利便性の低下を招く恐れもあります。市民が植木剪定材を資源物として分別することで、堆肥となって戻ってきて、それを気軽に利用できる、という身近に「見える化」が長年行われて浸透してきた事業であり、現在では堆肥の有料配布については考えておりません。</p>
<p>クリーンステーション</p>	<p>・戸別収集の賛成か反対の意見を市民に質問して欲しい。手広2丁目での現状では、クリーンステーションは15ヶ所位と思うが、戸別にすると300ヶ所を収集する事になる。</p>	<p>・戸別収集を導入する理由としては上記のとおりであることから、戸別収集が原則であると考えておりますが、クリーンステーション収集の継続の希望があることから、特例的な対応が可能であるか検討してお</p>

<p>ョン収集の継続</p>	<p>車の温暖化ガス排出が出て大変である。戸別収集は大反対で有料化してクリーンステーションを実行して欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 行政サービスは出来ない方の水準に合わせるのではなく、困った時に手をさしのべて下さるサービスが出来る事が基本です。現在ステーションに持って行く事が出来る私達に戸別収集はいらないサービスです。 燃やすごみ（戸別収集）を個別宅前に置く⇒従来使っているクリーンステーションで収集する方法も検討下さい。収集するコストが減るのではないか？ 	<p>ります。</p> <p>その場合、クリーンステーション収集を継続する地区においても、戸別収集に期待する効果と同じ効果が図れることが前提になると考えています。</p> <p>クリーンステーション収集を継続して有料化を導入した場合、管理体制や排出指導、クリーンステーション収集のエリア等の課題があることから、課題の整理を行っているところです。</p> <p>また、戸別収集とクリーンステーション収集が混在する場合には、収集体制に影響を及ぼすとともに収集コストの削減にはならないものと考えております。</p> <p>クリーンステーション収集の継続については、戸別収集・有料化についてのパブリックコメント等を経た後に最終的な結論を出していく予定です。</p>
<p>戸別収集 その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> 戸別収集になった時の現状の観光客ゴミ、不法投棄の問題が解決するのでしょうか？ <p>・大型ゴミペールやコンテナを門外等に出すのは、美観を損ねる上に不用心である。夜までゴミバケツを出していると、留守だとすぐにわかってしまい、空き巣に入れかねない。一日中家に誰かがいて、すぐにバケツを取り込むなどと考えないで欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> 戸別収集実施に伴うプライバシーの確保について <p>・戸別収集実施に伴うコミュニティーの確保について</p> <p>・戸別収集を実施することにより、渋滞が増えるのではないか。</p> <p>・「実施前に現地調査を行うのか？」と質問したが、するという明確な解答がなかった。</p> <p>・『夜間収集とゴミ焼却場稼働について』の回答が「難しいとの事ですが」！何も街路灯のない所を夜間収集するには、その前に街路灯を設置すれば更に予算が必要となるのはわかっています。商店街や観光客の多い場所に一軒一軒まわるのは、午後の収集になった場合みっともないから、そのような場所を夜間にして、時間に関係なく（モデル地区のような）収集出来る地域は商店街の混雑時でも比較的すいている場所でしょうから、昼間あるいは他の収集すべき所が済んでから行けばよいのではないか？そういう意味で一番厳しい地区をモデル地区にしないと総合的な問題解決にはならない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 他市と鎌倉市がはたして同様のやり方でうまく行くのでしょうか？有料化で減少が可能でそれに伴う問題が戸別収集で解決出来ないのなら、有料化のみ開始して減少量を検証し、それに伴う問題の対策を地域別に講じていく事も必要ではないでしょうか？ <p>・モデル事業で燃やすゴミは減ったというが、容器包装プラスチックの分別が悪くなったと聞いた。実態はどうだったのか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> 戸別収集モデル地区のうち山ノ内地区のごみの排出量が大きく減量した要因の一つにクリーンステーションへの不法投棄が減少したことがあると推察しています。また、他市において、戸別収集・有料化実施に伴い、パトロール等の不法投棄対策を行うことにより、不法投棄が減ったと聞いており、本市においても不法投棄対策を行ってまいります。 ごみ箱を長時間置き続けることは防犯上好ましくないというご意見もいただいておりますが、先行市の事例では、そういったことでのトラブルは起きていないと聞いています。また、モデル地区でもそういったトラブルは起きておりません。 モデル地区においても実施前には、プライバシーを気にする方がいましたが、実施後にそのような意見を特に聞いていません。プライバシーの面で気になるごみは、新聞紙で包むなどの対応をしていただければと考えております。 これまでの週5日のクリーンステーション収集が、一部の品目で戸別収集を実施することにより、週2日のクリーンステーション収集に変更になり、クリーンステーションにおけるコミュニティー確保の日数が減少することになりますが、確保することは可能であると考えております。 場所により対応は異なることになりますが、基本的には道幅の広い場所に収集車を止め、収集することを予定しております。狭隘な場所は軽車両や徒歩による収集を予定しています。 <p>モデル地区の江ノ電沿いでは、道幅が狭いため軽車両による収集とし、収集の際には道幅が広く自動車がすれ違ふことが出来る場所に停車しています。また、モデル地区の山ノ内で徒歩による収集の場所では、道幅が広い場所に停車し、運転員は収集車をいつでも動かせるように乗車し、収集員はかごなどを利用して迅速な収集ができるように工夫しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集担当者が実施前に問題なく収集できるか現地確認をすることを予定しています。 夜間収集をした場合、街路灯の問題だけではなく、夜間の時間帯においても収集車両が走行することになります。その場合、焼却炉周辺の方に夜間も騒音等ご負担を強いることになるので、夜間収集は難しいと考えています。 <p>ご指摘のとおり、観光客等が多い場所や大船駅・鎌倉駅周辺の商店街の多い地区についてはできるだけ早い時間で収集する早朝収集を考えています。</p> <p>モデル地区であった山ノ内も観光客が多い地区として選定したところです。</p> <ul style="list-style-type: none"> クリーンステーション収集のまま有料化をした場合、排出者が特定できないことから、指定収集袋を使わずにごみを排出するケースが増加し、ごみの減量につながらないだけではなく、クリーンステーション周辺の一部の市民の方の負担が増加し、かえってトラブルの増加が懸念されます。 <p>市としては、前段で記載したとおり、有料化の実施に併せて戸別収集を実施することでごみの減量・資源化を進めていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> モデル事業実施当初に容器包装プラスチックの分別が悪くなったということは聞いておりません。 <p>なお、モデル事業実施後（11月26日から30日）に行ったごみ質組成調査（燃やすごみの中に含ま</p>

		<p>れるごみの種類の割合を調べる調査)では、容器包装プラスチックはモデル事業実施前に比べて、3地区平均で17.7%削減(重量ベース)しています。</p>
<p>有料化について</p>	<p>・半減計画実施内容が分別の強化だけでは達成出来なかったのは当然。「有料化の前に何かやることがあるのでは？」という市民の声を正面から受け止めて欲しい。国が認めているということで、思考停止になっているように感じられます。Q&Aでもあらかじめ用意された答えを言うだけでは意見交換をしていることにはならないのでは？</p> <p>・低所得の家庭には大変な負担増になる。</p> <p>・生活保護世帯は減免を検討するとのことですが、集合住宅でプライバシーを守りながら減免する方法も検討されているのでしょうか。</p> <p>・モノレールの下(鉄柱の下)に設置してあるステーションは、非常に不法投棄が多くまた清掃がなされていず汚いです。近所の住民は迷惑しています。有料化になり、そこにステーションを残す事は考えていただきたいです。</p> <p>・プラスチックのプランターなど大きな物も袋に入れて出さなければいけないのですか？</p>	<p>・市民の協力により分別が徹底し資源化率は非常に高いのですが、ごみの排出量は他市に比べて多い状況です。このため、今後は発生抑制を図ることが重要であると考えています。</p> <p>その施策として市民の方には家庭系ごみの有料化・戸別収集を、事業系ごみについては処理手数料の改定、分別徹底をお願いすることとしています。</p> <p>・生活保護世帯等については減免を予定しています。</p> <p>・減免世帯の方が特定されることがない方法を予定しています。具体的には減免世帯の方には、指定収集袋を事前にお渡しすることを考えております。</p> <p>・クリーンステーションが残ることで不法投棄が懸念されるというご心配を他でもいただいております。その対策として、パトロール等の強化を図っていきたいと考えております。</p> <p>・50cm以上のプランターは粗大ごみとして収集していますが、粗大ごみに該当する場合は指定収集袋ではなく、従来通り粗大ごみシールをご購入いただくこととなります。50cm未満のものについては、燃やすごみとなりますので、指定収集袋に入れて出してもらおうこととなります。</p>
<p>指定収集袋について</p>	<p>・UV加工のゴミ袋を使用する事でカラス対策が出来る。</p> <p>・指定収集袋の供給者の選定方法と料金の内訳を明示して下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入札制度 ・原価 ・市の収入としての部分 ・小売店の手数料 <p>公的機関が市民に義務として購入させる物品については、上記以外の内容についても公表しなくてはならない点が有ると思います。</p>	<p>・UV加工ではなく、カラスが高い感度を示すとされる特定波長域の光の反射が可能な着色を袋に施すことで人間には半透明に見え、カラスには袋の色だけが際立つような加工をした袋(光学特性を利用した特殊顔料配合ポリエチレンを使用)について特許を取得したものをカラス対策用ゴミ袋として提供している業者があることを確認しています。実際にそのゴミ袋を導入されている自治体にも確認をしましたが、カラスを含めそれ以外の動物対策においても、ごみについては各家庭で排出する際にバケツやかごなどの容器に入れて排出していただくことがカラス対策に繋がっているようです。鎌倉市でも、各ご家庭で対策を取っていただくことを想定していること、カラス対策用ゴミ袋であっても一度カラスが餌の存在を覚えてしまった場合には効果が薄いこと、別の動物への対策にならないこと、また、特許商品であるため製造コストが高額となることから、当該商品については導入を予定していません。</p> <p>・指定収集袋の契約は、有料化の条例改正が確定以降になることから、現在、条例改正後に速やかに指定収集袋の供給業者の選定及び契約するため、契約検査課等関連部局と手法等含めて検討しているところです。</p> <p>戸別収集・有料化に係る経費について、市民の皆様のご関心も高いことから、指定収集袋に関する経費についても説明していく必要があると考えております。</p>
<p>市民周知について</p>	<p>・集合住宅で集積場所にゴミを出すことは理解できますが、戸別収集と違い指定の袋を使用しない人を特定することは困難と考えます。指定袋を使用しない人を排除し、平等を保てる対策を具体的に示して下さい。</p> <p>・アパートなどは住人が度々変わる為、また大家さんも他市に住まわれているので、捨てる方の悪い人が使っているステーションの掃除は近隣の住人がやる事になるのか？大家さんに市から指導してもらえるのか？いつも掃除が大変で悩んでいます。</p> <p>・町内会に入っていないアパート住民に対しての対応方法は、大家に責任をもってやらせるのか？</p>	<p>・専用のクリーンステーションがない集合住宅については、戸別収集品目専用の集積所を敷地内に設置し、敷地内に専用のクリーンステーションがある場合には、利用者がある程度特定できるため、指定収集袋を使用しない人をある程度は特定できると考えています。</p> <p>先行市の事例では、集合住宅の集積所に部屋ごとのフックを取り付けて、居住者は自分の部屋番号のフックにごみを引っ掛けるという方式で効果をあげていると聞いています。</p> <p>指定収集袋を使用していない場合には、中身を確認し排出者が特定できる場合には排出指導を行うなどの対応を行ってまいります。</p> <p>・アパートなどで戸別収集品目専用の集積所を設置する場合には、所有者の方や居住者の方への周知を図ってまいります。</p> <p>・パンフレット等を各戸配布等することで周知をすすめていきます。また、分別が悪い方については、戸別収集をすることにより、直接ご指導をさせていただくことを予定しています。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・単身者等、分別を理解していない人への周知方法は？ ・説明会に参加している人は意識の高い人で、アナウンスが必要な人というのは、参加してこない人の中にいると思います。そういった方々へは戸別収集の重要性をどのように伝えたいのでしょうか？ ・本日のお話よくわかりました。町内会で是非やって欲しいです。近くでやらないと皆さん出席しません。 ・有料化・戸別収集の広宣があと1年で十分行われるとは思えない。特に認知症の高齢者への周知徹底はどのようにするつもりなのか？同じステーションを利用する方の中に認知症の世帯があるので非常に不安である。戸別収集など理解出来るのか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット等の各戸配布、広報かまくらへの掲載、ホームページ等様々な機会を捉えて周知に努めてまいります。 ・自治・町内会単位等の説明会には随時伺いますのでお申し出ください。 ・昨年実施したモデル地区においても、認知症の高齢者の方がいらっしゃいました。そういった方については、先行市の事例等から個別の対応をとりながら実施しているところです。
<p>施設について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・山崎浄化センターのバイオマスエネルギー回収施設建設に関して、30年の建設及び運営管理費が620億円、従来方法で5百数十億円という数字が平成22、23年頃示され、バイオマスエネルギー回収施設建設を中止したのに対し、この7月から本格稼働した新潟県長岡市のバイオガス化施設は、15年で47億円という数字が示されました。 山崎バイオマスエネルギー回収施設の建設及び運営管理費が620億円、従来方法で5百数十億円の具体的な根拠を教えてください。 ・山崎バイオマスエネルギー回収施設を長岡方式にした場合の建設及び運営管理費はどのくらいか？ ・家庭系ごみ戸別収集・有料化を全市実施した場合の推計コストが示されましたが、戸別収集を実施した場合の増額コストが5.2億円となっていますが、30年で156億円となり長岡市のバイオガス化施設より多くなります。従って、当面今泉クリーンセンターの平成27年3月焼却停止以降の対策は別途考えるとして、山崎浄化センターのバイオマスエネルギー回収施設の建設を再考すべきと考えますが、如何でしょうか。環境部の本来の目標であるCO2削減にもつながる方法であり、産み出された電力を有効利用する方法もあり、是非建設の再考をお願い致します。 ・製鉄所の高炉のように、日勤だけだと炉壁の寿命が短くなる。ダイオキシン用焼却炉も高炉並みの温度が要求される。その面からしても昼夜連続稼働は炉壁の寿命を長くする事が出来るのでは？（炉内温度を上げたり下げたりすると寿命が短くなる。） ・ゴミ焼却場は2ヶ所体制が必要だと思う。今泉の代わりを考えて下さい。 ・先日行った東京・代々木上原の葬祭施設「代々幡斎場」は参考になった。明るくクリーンで皆が楽しめるように建築したらと思う。 ・長野県軽井沢町は焼却炉がなく、隣町に有料で依頼しています。一度軽井沢町の経験を聞いてご覧になると、良い知恵が与えられるかも知れません。ご提案です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご質問にあります620億円という金額についてですが、市では、平成22年11月に山崎バイオマスエネルギー回収施設を建設した場合と、同施設建設しないでごみの焼却量を削減する場合の平成22年度から平成51年度まで30年間に必要な経費の比較をしています。山崎バイオマスエネルギー回収施設を建設した場合、その間に必要な経費を610億円とし、同施設の建設費と維持管理費のほか、逗子市の広域での新焼却施設の建設費、名越クリーンセンターの維持管理費、さらに生ごみと燃やすごみを戸別収集・有料化に係る経費も含まれており、長岡市のようにバイオ施設単独の経費となっていません。また、同施設を建設しない場合の経費は545億円とし、逗子市の広域での新焼却施設の建設費、名越クリーンセンターの維持管理費のほか、ごみ焼却量を削減に係る経費等が含まれています。 ・山崎バイオマスエネルギー回収施設の建設費は約65億円、維持管理費は年間約8億円(修繕費込)と想定していますが、PFI方式やDBO方式での管理運営などを検討することにより、これより廉価になる可能性はあります。 ・山崎バイオマスエネルギー回収施設全国的に、まだ事例が少なく、安定的に稼働できるか不安が残る施設であること、また、本市の財政状況から新たな資源化施設建設は厳しいと判断しました。 ・現在でも、焼却炉を稼働すると1箇月程度、昼夜連続24時間稼働しておりますので、ご意見を頂いた件に関しましては、懸念はないかと思えます。 ・様々な減量施策を行ったとしてもごみがすべてなくなるわけではありません。安定的なごみ処理を行っていくためには、焼却施設が不可欠です。 現在、名越クリーンセンターの10年程度の延命化工事を行っておりますが、今回が最後の延命化工事となることから、今年度新しい焼却施設建設の基本構想を策定し、今年度から来年度にかけて用地選定も含めた、新しい焼却施設の基本計画に着手したところです。 具体的には、本年8月に「廃棄物減量化及び資源化推進審議会」及び「生活環境整備審議会」に最適な資源化のあり方及び新焼却施設の建設に向けた諮問を行い、審議会の答申を踏まえて基本計画を策定していく予定となっています。 ・新焼却施設につきましては、市民の方が集まれるような地域のシンボルとしての役割等を考えながら、市民の方も活用でき、みんなが集まれる場所となるような地域施設を目指していきます。 ・軽井沢町には焼却施設はありませんが、佐久市、軽井沢町、立科町の1市2町で広域処理をしているようです。

<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来年7月から家庭系ごみ戸別収集・有料化され8000トンのゴミ削減が出来なかった場合、他市にごみ焼却を依頼しなければなりません、どの位費用が掛かるかお示し下さい。 ・家庭用生ごみ処理機について、メタンガスの環境に対する影響についてご回答下さい。メタンガスの温室効果はCO₂の20倍超もあり、鎌倉市内1万7000世帯に配布した家庭用生ごみ処理機から発生するメタンガスの年間の発生量は、CO₂換算でどの位になるのか？ また同量の家庭用生ごみを焼却したときに発生するCO₂と比べて多いのか少ないのか、具体的に数値を示して下さい。 更に、市内7万3300世帯の全世帯に家庭用生ごみ処理機を設置した場合はどうなのか？機種によって違うかも知れませんが、その点についての考慮もお願いします。 ・プラスチックごみはどの程度の物まで出せるか、詳しくもう一度ごみの分別説明をしていただきたいと思います。 ・ふれあい収集は続行してもらえますか？障害のある独り暮らしの高齢者にとって、ゴミ出しは不可能です。 ・観光客のゴミ処理・し尿処理・排気ガスにかかる費用を軽減し、ゴミの量を減らすには、観光客数を減らすのが一番効果的だと思う。その為には観光客に対する「観光税」の導入を検討してみたいか？これから夏に向かい海に近いステーションへの観光客からの不法投棄が心配である。市役所職員のアナウンスメントくらいではゴミは持ち帰らないと思う。 ・専用袋に入れていないゴミを勝手に捨てられた場合、またそういうゴミがカラス等に荒らされたものを片付けてまとめて袋（専用袋でない）に入れた場合、市に連絡したら、無料で片付けてもらえるのでしょうか？それとも専用袋の購入が必要でしょうか？個人宅と集合住宅とで対応は変わりますか？ ・生ごみ処理機で出来た堆肥は、庭がない場合、剪定材と一緒に回収してもらいたい。 ・「説明会」を1時間と設定するのは短すぎる。市長挨拶と担当部長の現状説明だけで40分を費やしている。質問も多いので2時間位と設定すべき。 ・高齢者の為か、説明会での話は殆どわからなかったです（87才）。沢山たった年賀状を処分したいけれど、燃やすことも出来ず、シュレッダーが故障するとか聞きました。個人情報問題もあるので、どうしたものかと困っています（ほんの一例です）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・名越クリーンセンター延命化工事に伴い他市に委託しているコストと同額だと仮定した場合、3,500tのごみを自区外で処理するには約1億500万円のコストが年間かかります。 ・家庭用生ごみ処理機から発生するメタンガスの発生量については、これまでどのメーカーも算出しておらず、はっきりした数値はわかりません。 しかし、食物くず(生ごみ)や紙くず等のバイオマス(生物体)起源の廃棄物の焼却に伴う温室効果ガスの排出は、植物により大気中から一度吸収された二酸化炭素が再び大気中に放出されるため、大気中の二酸化炭素総量の増減には影響を与えないカーボンニュートラルの考え方から、国際的な取り決め(IPCCガイドライン)に基づき、温室効果ガスの排出量には含めない、と考えられます。そのため、生ごみ処理機に伴って発生するCO₂も、焼却した際に発生するCO₂も、温室効果ガスの排出量に含まれません。 なお、生ごみ処理にともなう温室効果ガスの発生については、焼却にともなう助燃材と電力使用量を見込むとする記述が、環境省が出しているエコアクションの温室効果ガス削減効果算定事例にあります。 電動型生ごみ処理機については、電力使用量に伴う温室効果ガスの発生が見込まれますが、機種ごとに電力使用量も異なるため、生ごみ処理機の使用に伴う温室効果ガス発生量は算出できません。 ・容器包装以外のプラスチックは、50cm以上のものは粗大ごみ、50cm未満は燃やすごみとなります。 ・戸別収集を実施しても声かけふれあい収集は継続します。 ・市として観光客を減らしていく施策をとることは難しいと認識しています。これまでも観光客の方にはごみの持ち帰りをPRしてまいりましたが、今後とも、PRを実施して行くとともに、不法投棄等によるごみを増やさないためにパトロールの強化を実施してまいります。 ・他者から排出された不適切ごみの処理についてはさまざまなパターンが想定されるため、対応について詳細検討していきたいと考えております。 いずれにしても、ごみを勝手に捨てられた方が指定収集袋を購入していただく等の負担をしていただくことはありません ・生ごみ処理機による成果品を剪定材と一緒に処理をすることについて検討したのですが、資源化するためには、許可が別途必要になるため、現在剪定材を資源化している施設では処理ができなくなってしまうため見送った経過があります。 ・ご意見として承ります。9月の説明会では1時間半を設定しています。 ・年賀状は、ミックスペーパーとして分別してください。袋を開けることなく溶解処理をするので、個人情報流出することはありません。 できるかぎりわかりやすい周知に努めてまいりたいと思いますが、ご不明な点等については直接、資源循環課(38-1227)にご連絡いただければ幸いです。
------------	--	---